

1

午後

(2018年9月9日13時30分～15時30分)

# 問 題


- ◎ 指示があるまで開かないでください。

## 注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

貼付欄	 0A-0001	受験番号 0A-0001	氏名 心理 花子
-----	---	-----------------	-------------

### 3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。  
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

**[例 1]** 公認心理師の名称を用いることができるのはどれか、正しいものを 1 つ選べ。

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| ① 公認心理師試験受験日以降    | 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。  |
| ② 合格発表日以降         |                            |
| ③ 資格申請日以降         | 解答用紙 A の場合      解答用紙 B の場合 |
| ④ 公認心理師登録簿への登録日以降 |                            |

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	②	③	●

解答用紙 B の場合

1	①
①	②
②	③
③	●
④	

[例2] 公認心理師の資質向上の責務を定めている法律について、正しいものを1つ選べ。

① 医療法 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。

② 医療観察法

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 社会福祉法

④ 公認心理師法

⑤ 精神保健福祉法

2	①	②	③	④	⑤
↓					
2	①	②	③	●	⑤

2	2
①	①
②	②
③	③
④	●
⑤	⑤

[例3] 公認心理師登録簿に登録される項目について、正しいものを2つ選べ。

① 氏名 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。

② 年齢

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 電話番号

④ 卒業年月日

⑤ 登録年月日

3	①	②	③	④	⑤
↓					
3	●	②	③	④	●

3	3
①	●
②	②
③	③
④	④
⑤	●

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~○~~~~○~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。



**問78** 公認心理師の地域連携の在り方として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 地域の同じ分野の同世代の者たちと積極的に連携する。
- ② 他の分野との連携には、自身の分野の専門性の向上が前提である。
- ③ 医師からは指示を受けるという関係であるため、連携は医師以外の者  
と行う。
- ④ 既存のソーシャルサポートネットワークには入らず、新たなネット  
ワークで連携する。
- ⑤ 業務を通じた連携を基本とし、業務に関連する研究会や勉強会を通し  
て複数の分野との連携を行う。

**問79** 認知心理学について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① まとまりのある全体性を重視する。
- ② 内観と実験との2つを研究手法とする。
- ③ 観察可能な刺激と反応との関係性を重視する。
- ④ 心的過程は情報処理過程であるという考え方に基づく。
- ⑤ 心理の一般性原理を背景にしながら個人の個別性を重視する。

**問80** 認知療法で用いられる手法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ラポール
- ② 自由連想法
- ③ 非指示的方法
- ④ 系統的脱感作法
- ⑤ 非合理的信念を変容させる方法

**問81** 研究の目的を偽って実験を行い、実験の終了後に本来の目的を説明することによって、実験の参加者に生じた疑念やストレスを取り除く研究倫理上の行為として、正しいものを1つ選べ。

- ① 個人情報保護
- ② デイセプション
- ③ フィードバック
- ④ デブリーフィング
- ⑤ インフォームド・コンセント

**問82** 心理物理学の実験において、反応バイアスを含まない測定を目指す方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 極限法
- ② 調整法
- ③ 一対比較法
- ④ 二肢強制選択法
- ⑤ マグニチュード推定法

**問83** 観察法において、観察対象者に起こりそうな行動の一覧表を用意し、観察結果を記録する方法として、正しいものを1つ選べ。

- ① 日誌法
- ② 行動描写法
- ③ 行動目録法
- ④ 場面見本法
- ⑤ トランスクリプト

**問84** 長期記憶について、正しいものを1つ選べ。

- ① 宣言的記憶<declarative memory>は手続的記憶とも呼ばれる。
- ② 意味記憶<semantic memory>は時間的文脈と空間的文脈とが明確な記憶である。
- ③ エピソード記憶<episodic memory>は一般的な知識としての事実に関する記憶である。
- ④ 顕在記憶<explicit memory>と潜在記憶<implicit memory>とは記銘時の意識の有無によって分けられる。
- ⑤ 非宣言的記憶<nondeclarative memory>は技能・習慣、プライミング及び古典的条件づけの3つに分けられる。

**問85** コミュニケーションと言語の発達について、正しいものを1つ選べ。

- ① 発達初期に出現する語彙は、動詞や形容詞が名詞よりも多い。
- ② 語彙の増加は、初語の出現から就学まで概ね均質なスピードで進む。
- ③ 指さしは、リーチングなどとともに生後6か月頃から頻繁に観察されるようになる。
- ④ 生後9～10か月頃からみられる、対象に対する注意を他者と共有する行動を共同注意と呼ぶ。
- ⑤ クーイングとは、乳児期の後半からみられる「ババババ」などの同じ音を繰り返し発声することをいう。



**問86** 基本感情説における基本感情について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① それぞれの感情が特異的な反応と結びついている。
- ② 大脳皮質を中心とする神経回路と結びついている。
- ③ 発達の過程を通して文化に固有のものとして獲得される。
- ④ 喜び、怒り及び悲しみといった感情概念の獲得に依存する。
- ⑤ 快－不快と覚醒－睡眠の二次元の感情空間によって定義される。

**問87** 中枢神経系のうち、意識水準の維持に必須の領域として、正しいものを1つ選べ。

- ① 小脳
- ② 前頭葉
- ③ 大脳基底核
- ④ 大脳辺縁系
- ⑤ 脳幹網様体

**問88** 視床下部の機能として、正しいものを1つ選べ。

- ① 運動協調の調節
- ② 摂食行動の調節
- ③ 対光反射の中樞
- ④ 体性感覚の中継
- ⑤ 短期記憶の形成

**問89** J. Piaget の発達理論について、正しいものを1つ選べ。

- ① 外界に合わせてスキーマを改変する過程を「異化」という。
- ② 「具体的操作期」になると、速度、距離、時間など変数間の数量的な関係が理解できるようになる。
- ③ 「自己中心性」とは、何事も自分中心に考える幼児期の利己的な心性を表し、愛他心の弱さを特徴とする。
- ④ 積木をサンドイッチに見立てて食べるまねをするような「ふり遊び」は、表象の能力が発達する幼児期の後半から出現する。
- ⑤ 水を元のコップよりも細長いコップに入れ替えると液面が高くなるが、幼児期の子どもは水の量自体も変化したと考えてしまう。

**問90** ストレンジ・シチュエーション法によるアタッチメントのタイプ分類(A：回避型、B：安定型、C：抵抗／アンビバレント型、D：無秩序・無方向型)について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aタイプの養育者は、子どもに対して虐待など不適切な関わりをしていることが多い。
- ② AタイプとCタイプの子どもは、再会場面で感情が元どおりに回復せずに、怒りの感情を表すことがある。
- ③ BタイプとCタイプの子どもは、分離場面で強く泣くなどの苦痛を表出する。
- ④ Cタイプの養育者は、子どもに対して拒絶的にふるまうことが多い。
- ⑤ Dタイプの養育者は、子どものシグナルに養育者自身の都合で応答するなど一貫性を欠く傾向がある。

**問91** 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(ASD)の基本的な特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 場面緘黙
- ② ひきこもり
- ③ ディスレクシア
- ④ 言葉の発達の遅れ
- ⑤ 通常の会話のやりとりの困難

**問92** 認知及び言語の発達が遅れが疑われる3歳の幼児に用いるアセスメントツールとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① BDI
- ② CMI
- ③ KABC-II
- ④ MPI
- ⑤ WISC-IV

**問93** 災害時の支援について、正しいものを1つ選べ。

- ① 被災直後の不眠は病的反応であり、薬物治療を行う。
- ② 被災者に対する心理的デブリーフィングは有効な支援である。
- ③ 危機的な状況で子どもは成人よりリスクが高く、特別な支援を必要とする。
- ④ 被災者の悲観的な発言には、「助かって良かったじゃないですか」と励ます。
- ⑤ 被災者から知り得た情報は、守秘義務に基づき、いかなる場合も他者に話してはならない。

**問94** 依存と依存症について、正しいものを1つ選べ。

- ① 抗うつ薬は精神依存を引き起こす。
- ② 覚せい剤で身体依存が起こることは少ない。
- ③ 抗不安薬は半減期が長いほど依存を生じやすい。
- ④ 薬物摂取に伴う異常体験をフラッシュバックという。
- ⑤ 病的賭博(ギャンブル障害)は気持ちが高ぶるときに賭博をすることが多い。

**問95** ストレスコーピングについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 状況が変わっても、以前成功したコーピングを実行した方がよい。
- ② ストレッサーに対して多くの種類のコーピングを用いない方がよい。
- ③ コーピングを続けているうちに疲労が蓄積することを、コーピングのコストという。
- ④ コーピングの結果は、二次的評価というプロセスによって、それ以降の状況の評価に影響を与える。
- ⑤ 一時的に生じたネガティブな感情を改善するコーピングは、慢性的なストレス反応の改善には効果がない。

**問96** 災害発生後の「被災者のこころのケア」について、正しいものを1つ選べ。

- ① ボランティアが被災者を集め、被災体験を語ってもらう。
- ② 避難所などにおける対象者のスクリーニングは、精神科医が実施する。
- ③ 支援者のストレス反応に対しては、役割分担と業務ローテーションの明確化や業務の価値づけが有効である。
- ④ 避難所などにおけるコミュニティ形成について経験のある NPO への研修を迅速に行い、協力体制を整備する。
- ⑤ 悲嘆が強くひきこもりなどの問題を抱えている被災者を「見守り必要」レベルとして、地域コミュニティのつながりで孤立感を解消する。

**問97** 知的障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① 成人期に発症する場合もある。
- ② 療育手帳は法律に規定されていない。
- ③ 療育手帳は18歳未満に対して発行される。
- ④ DSM-5では重症度を知能指数(IQ)で定めている。
- ⑤ 診断する際に生活全般への適応行動を評価する必要はない。

**問98** 学校における一次的、二次的及び三次的援助サービスについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 一次的援助サービスは問題の早期発見を目的としている。
- ② 一次的援助サービスには発達障害の子どもへの支援を含む。
- ③ 二次的援助サービスは問題が大きくなったときに行う。
- ④ 三次的援助サービスは特別支援教育のことである。
- ⑤ 一次的、二次的及び三次的援助サービスはそれぞれが独立して行われる。

**問99** 少年事件の処理手続として、正しいものを1つ選べ。

- ① 14歳未満の触法少年であっても重大事件である場合は検察官送致となることがある。
- ② 14歳以上で16歳未満の犯罪少年は検察官送致とならない。
- ③ 16歳以上で故意に人を死亡させた事件の場合は、原則的に検察官送致となる。
- ④ 18歳未満の犯罪少年であっても重大事件を犯せば死刑になることがある。
- ⑤ 事案が軽微で少年法の適用が望ましい事件の場合は、20歳を超えても家庭裁判所で不処分を決定することができる。

**問100** ワーク・モチベーション研究において人間関係論の基礎となったものとして、正しいものを1つ選べ。

- ① A. H. Maslow の欲求階層説
- ② D. McGregor の X-Y 理論
- ③ E. Mayo のホーソン研究
- ④ F. W. Taylor の科学的管理法
- ⑤ J. S. Adams の衡平理論

**問101** 神経性無食欲症について、正しいものを1つ選べ。

- ① 経過中の死亡はまれである。
- ② 通常、心理療法によって十分な治療効果が得られる。
- ③ 入院治療では、心理療法は可能な限り早期に開始する。
- ④ 経管栄養で体重を増やせば、その後も維持されることが多い。
- ⑤ 患者自身は体重低下に困っていないため、治療関係を築くことが難しい。



**問102** 軽症うつ病エピソードに対する初期の短期間の心理療法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家族療法
- ② 自律訓練法
- ③ 認知行動療法
- ④ 来談者中心療法
- ⑤ 力動的心理療法

**問103** 統合失調症の特徴的な症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 幻視
- ② 観念奔逸
- ③ 情動麻痺
- ④ 被影響妄想
- ⑤ 誇大的な認知

**問104** 副作用としてアカシジアを最も発現しやすい薬剤について、正しいものを1つ選べ。

- ① 抗うつ薬
- ② 抗不安薬
- ③ 気分安定薬
- ④ 抗精神病薬
- ⑤ 抗認知症薬

**問105** 虐待など、父母による親権の行使が困難又は不適當な場合、子や親族などの請求により親の親権を一時的に停止することができるのは誰か。正しいものを1つ選べ。

- ① 知事
- ② 検察官
- ③ 市町村長
- ④ 児童相談所長
- ⑤ 家庭裁判所(裁判官)

**問106** 我が国の少年院制度について、正しいものを1つ選べ。

- ① 少年院に受刑者を収容することはできない。
- ② 14歳未満の者でも少年院に送致されることがある。
- ③ 1つの少年院に2年を超えて在院することはできない。
- ④ 少年院は20歳を超える前に少年を出院させなければならない。
- ⑤ 少年院法で定められた少年院の種類のうち、第2種は女子少年を収容する施設である。

**問107** 心理職の行動として、不適切なものを1つ選べ。

- ① クライアントからの贈り物を断る。
- ② 部下の家族をカウンセリングする。
- ③ クライアントに対して人間的な魅力を感じる。
- ④ クライアントからデートの誘いを受けた際に断る。
- ⑤ 自身の生徒のカウンセリングを断り、他の専門家を紹介する。

**問108** 心理に関する支援を要する者に対して、公認心理師が行う行為として公認心理師法に規定されていないものを1つ選べ。

- ① 観察
- ② 教育
- ③ 指導
- ④ 助言
- ⑤ 診断

**問109** MMPI [ミネソタ多面的人格目録〈Minnesota Multiphasic Personality Inventory〉]について、誤っているものを1つ選べ。

- ① MAS は、MMPI の項目から作成された。
- ② 妥当性尺度とは、? 尺度、L 尺度、F 尺度及び K 尺度の 4 つを指す。
- ③ 質問項目は 550 項目あり、実施時間は 1 時間以上を見込む必要がある。
- ④ 質問項目は、患者群と非患者群との間の統計的有意差を基に作られている。
- ⑤ 心気症、抑うつ、緊張などの各傾向を測定する 20 個の臨床尺度から構成される。

**問110** 反応性アタッチメント障害について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 認知と言語の発達は正常である。
- ② 乳幼児期のマルトリートメントと関係が深い。
- ③ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉と症状が一部類似する。
- ④ 常に自分で自分を守る態勢をとらざるを得ないため、ささいなことで興奮しやすい。
- ⑤ 養育者が微笑みかける、撫でるなど、それまで欠けていた情動体験を補うような関わりが心理療法として有効である。

**問111** リーダーシップについて、誤っているものを1つ選べ。

- ① PM理論のM機能とは、部下への配慮やメンバー間の人間関係に関心が高いリーダーのスタイルである。
- ② リーダーシップはリーダーの中に存在するのではなく、リーダーとフォロワーの間で形成される過程である。
- ③ オーセンティックリーダーシップとは、自分の信条や価値を知り、その信条や価値のままに行動するリーダーのスタイルである。
- ④ サーバントリーダーシップとは、リーダーが自らの私欲を捨て、フォロワーが成長することに注力するリーダーのスタイルである。
- ⑤ 変革型リーダーシップとは、部下に成果を出すように求め、生産性向上や組織目標達成に向けて強力に推進するリーダーのスタイルである。

**問112** 労働者の心の健康の保持増進のための指針において、労働者への教育研修及び情報提供の内容に含まれないものを1つ選べ。

- ① ストレスへの気づき方
- ② 職場環境の評価及び改善の方法
- ③ メンタルヘルスケアに関する事業場の方針
- ④ ストレス及びメンタルヘルスケアに関する基礎知識
- ⑤ ストレスの予防、軽減及びストレスへの対処の方法

**問113** 心理学研究で行われている統計的仮説検定において利用される有意水準の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 帰無仮説が真であるとき帰無仮説を棄却する確率である。
- ② 帰無仮説が真であるとき帰無仮説を採択する確率である。
- ③ 対立仮説が真であるとき帰無仮説を棄却する確率である。
- ④ 対立仮説が真であるとき帰無仮説を採択する確率である。

**問114** フォーカシング指向心理療法の基本的な考え方や技法について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 過去から現在までの体験の積み重ねを共同作業の中で丁寧に検討する。
- ② 情動体験をより深く十分に感じることによって変化することを目指す。
- ③ 問題や状況について、本人が既に分かっている気づきを更に深めるように質問を重ねていく。
- ④ クライアントが自身の身体に起こる、まだ言葉にならない意味の感覚に注意を向けるよう援助する。

**問115** TATの実施と解釈について、正しいものを1つ選べ。

- ① 臨床場面での投影法検査として、L. Bellakによる解釈法と分析法が標準である。
- ② 決められた順序に従って全ての図版を呈示することによって正確な解釈が得られる。
- ③ G. W. Allportが標準化した欲求-圧力分析による解釈法を基本に、被検者の対人関係の主題を読み取る。
- ④ 被検者には各図版を見てストーリーを構成することが求められるため、物語を通して主題を把握することが解釈において重視される。

**問116** エビデンスベイスト・アプローチについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 事例研究はエビデンスとして採用しない。
- ② 介入効果のエビデンスは査定法の開発には用いない。
- ③ 対照試験は一事例実験よりも結果にバイアスがかかる。
- ④ メタ分析では同じ研究課題について複数の研究結果を統合して解析する。

**問117** 社会構成主義を基盤とする心理的支援について、正しいものを1つ選べ。

- ① 当事者との会話を維持することではなく、変化を起こすことを目標にする。
- ② 人間の活動が文化や価値観に根差しているという考えに基づいて支援を行う。
- ③ 論理科学的モードとナラティブモードとの2つの基本的な思考パターンに分ける。
- ④ 言語が現実を作り出すという視点から新たな社会意識を形成するという考えに基づいて支援を行う。



**問118** 今後の学習成果を高めるために効果的な学習者の解釈として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 試験の点数が悪かったのは苦手な科目であるからだ。
- ② 試験の点数が悪かったのは問題が難しかったからだ。
- ③ 試験の点数が悪かったのは努力が足りなかったからだ。
- ④ 試験の点数が悪かったのは学習方法に問題があったからだ。

**問119** 重大な加害行為を行った者の精神状態に関する鑑定(いわゆる精神鑑定)について、正しいものを1つ選べ。

- ① 裁判所が鑑定の結果とは異なる判決を下すことは違法とされている。
  - ② 被告人が心神耗弱であると裁判所が判断した場合、罪を軽減しなければならない。
  - ③ 被告人が心神喪失であると裁判所が判断しても、他の事情を考慮した上で必ずしも無罪にする必要はない。
  - ④ 心神喪失者として刑を免れた対象者が、後に医療観察法に基づく鑑定を受けた場合、鑑定結果によっては先の判決が変更されることがある。
- (注：「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」である。)

**問120** 配偶者に対する虐待への対応について、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉に定める内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 婦人相談員は被害者に対して必要な指導を行うことができる。
- ② 被害者を発見した者が配偶者暴力相談支援センターへ通告することは、努力義務である。
- ③ 医療関係者は、配偶者暴力相談支援センターなどの情報を被害者に提供することが求められている。
- ④ 被害者を発見した者が警察に通報することには、刑法その他の守秘義務に関する規定によって制限が設けられている。

**問121** C. R. Rogersによるクライアント中心療法における共感的理解について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 建設的な方向に人格が変容するために必要な条件の1つである。
- ② セラピストが共感的理解をしていることがクライアントに伝わる必要がある。
- ③ セラピストの内的照合枠に沿って、クライアントが感じている世界を理解することである。
- ④ クライアントの内的世界を「あたかもその人であるかのように」という感覚を保ちながら理解することである。

**問122** 学校における心理教育的アセスメントについて、誤っているものを1つ選べ。

- ① 一定のバッテリーからなる心理検査の実施が必須である。
- ② 学校生活における子どもの観察が重要な要素の1つである。
- ③ 心理教育的援助サービスの方針や計画を立てるためのプロセスである。
- ④ 複数の教師、保護者、スクールカウンセラーなどによるチームで行われることが望ましい。

**問123** 学校における教職員へのコンサルテーションに含まれるものとして、誤っているものを1つ選べ。

- ① 児童生徒への個別及び集団対応に関する助言や援助
- ② 児童生徒への心理教育的活動の実施に関する助言や援助
- ③ ケース会議などの教育相談に関する会議における助言や援助
- ④ 困難な問題に直面している教職員に代わる保護者などとの面談の実施

**問124** 巨大な自然災害の直後におけるサイコロジカル・ファーストエイドについて、適切なものを2つ選べ。

- ① 被災者の周囲の環境を整備し、心身の安全を確保する。
- ② 被災者は全て心的外傷を受けていると考えて対応する。
- ③ 被災体験を詳しく聞き出し、被災者の感情表出を促す。
- ④ 食糧、水、情報など生きていく上での基本的ニーズを満たす手助けをする。
- ⑤ 被災者のニーズに直接応じるのではなく、彼らが回復する方法を自ら見つけられるように支援する。

**問125** 高齢期の心理学的適応について、正しいものを2つ選べ。

- ① ソーシャルコンボイを維持又は補償できるかということは適応を左右する要因の1つである。
- ② 退職後は以前の高い活動性や社会的関係から、いかに速やかに離脱できるかによって左右される。
- ③ 能力低下への補償として、活動領域を選択的に限定し、従来とは異なる代替方略を用いることが有効である。
- ④ 未来志向的に自身のこれからの熟考させることが、自身の過去への関心を促し回想させるよりも有効とされている。
- ⑤ 適応が不安定になる1つの要因として、高齢期になると流動性知能に比べて結晶性知能が著しく低下することが挙げられる。

**問126** WHO〈世界保健機関〉によるICF〈国際生活機能分類〉の障害やその支援に関する基本的な考え方について、正しいものを2つ選べ。

- ① 生活機能と障害の状態は、健康状態、環境因子及び個人因子が相互に影響し合う。
- ② 生活機能の障害は、身体の機能不全によって能力低下が引き起こされる中で生じる。
- ③ 障害とは、心身機能、身体構造及び活動で構成される生活機能に支障がある状態である。
- ④ 障害とは、身体的、精神的又は知的機能のいずれかが一般の水準に達しない状態が継続することである。
- ⑤ 障害への心理的支援においては、診断名ではなく、生活の中での困難さに焦点を当てることが重要である。

**問127** 特別支援教育における通級指導について、正しいものを2つ選べ。

- ① 中学校では行われぬ。
- ② 知的障害は対象にならない。
- ③ 特別支援学校の教員が担当する。
- ④ 障害者総合支援法に定められている。
- ⑤ 自立活動と各教科の補充指導が行われる。

(注：「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」である。)

**問128** 日本で開発された心理療法について、正しいものを2つ選べ。

- ① 森田療法における入院療法では、最初の約1週間は終日横になったままで過ごす。
- ② 森田療法では、不安を「あるがままに」受けとめた上で、不安が引き起こす症状の意味や内容を探求していく。
- ③ 内観療法における集中内観では、指導者を含め他人と一切話をしてはならない。
- ④ 内観療法では、「してもらったこと」、「して返したこと」、「迷惑をかけたこと」及び「して返したいこと」という4項目のテーマが設定されている。
- ⑤ 動作法では、心理的な問題の内容や意味を心理療法の展開の主な要因としては扱わない。

**問129** 心身症について、正しいものを2つ選べ。

- ① 社会的に不適應を来すことが多い。
- ② リラクゼーション法の有効性が高い。
- ③ 発症や経過に心理社会的要因が関与する身体疾患のことである。
- ④ 発症の契機が明らかになると、改善の方法も明らかになることが多い。
- ⑤ 病気の症状と心理社会的要因との間には象徴的な関連が認められることが多い。

**問130** 心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の各段階で事業者が行うことについて、適切なものを2つ選べ。

- ① 休業の開始時には、傷病手当金など経済的保障について説明する。
- ② 職場復帰の可否については、産業医の判断があれば、主治医の判断は不要である。
- ③ 職場復帰の可否を判断するために、職場復帰支援プランを本人に提示し、本人の意思を確認する。
- ④ 最終的な職場復帰は事業者が決定する。
- ⑤ 職場復帰後は、あらかじめ決めた職場復帰支援プランに沿うようフォローアップする。

**問131** 認知症について、正しいものを2つ選べ。

- ① Lewy 小体型認知症は幻視を伴うことが特徴である。
- ② 前頭側頭型認知症は運動障害を伴うことが特徴である。
- ③ 血管性認知症では歩行障害と尿失禁が早期から出現する。
- ④ 若年性認知症で最も多いのは Alzheimer 型認知症である。
- ⑤ Alzheimer 型認知症の早期には近時記憶の障害がみられない。

**問132** 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉の併存障害について、正しいものを2つ選べ。

- ① 環境調整と薬物療法とを考慮する。
- ② 成人期にしばしばうつ病を併存する。
- ③ 養育環境は併存障害の発症に関係しない。
- ④ 自尊感情の高低は併存障害の発症に関係しない。
- ⑤ 児童期に反抗挑戦性障害を併存することは少ない。

**問133** 2型糖尿病について、正しいものを2つ選べ。

- ① ストレスは身体に直接作用して血糖値を上げる。
- ② うつ病を合併すると、血糖値は下がることが多い。
- ③ 肥満や運動不足によってインスリンの効果が低くなる。
- ④ 飲酒は発症のリスクを上げるが、喫煙は発症のリスクに影響しない。
- ⑤ 薬物療法が中心になるため、服薬管理が心理的支援の主な対象になる。



**問134** かかりつけの内科医に通院して薬物療法を受けているうつ病の患者を精神科医へ紹介すべき症状として、適切なものを2つ選べ。

- ① 不眠
- ② 自殺念慮
- ③ 体重減少
- ④ 改善しない抑うつ症状
- ⑤ 心理的原因による抑うつ症状

**問135** 労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について、正しいものを2つ選べ。

- ① 労働者はストレスチェックの受検義務がある。
- ② 精神保健福祉士はストレスチェックの実施者となれる。
- ③ 全ての事業場でストレスチェックを実施する義務がある。
- ④ 労働者のメンタルヘルス不調の未然防止を目的としている。
- ⑤ 面接指導は、事業者を高ストレス者であることを知らせずに実施することができる。

**問136** 新しい英語学習法の効果を検証するために実験計画を立てた。新しい学習法を実験群、従来型学習法を統制群とし、実験の参加申込順に最初の25人を実験群に、次の25人を統制群に割り当てることにした。各群にそれぞれの学習法を体験させ、4週間後にテストを実施することにしたが、この実験計画には問題点があった。

改善方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 参加者全体の人数を100人にする。
- ② 25人ずつ無作為に実験群と統制群に割り当てる。
- ③ 学習法を実施する前にも、同様の英語のテストを実施する。
- ④ 参加者全員に従来型学習法と新しい学習法の双方を実施する。
- ⑤ 先に申込みがあった25人を統制群に、次の25人を実験群に割り当てる。

**問137** 26歳の男性A、会社員。Aは仕事上のストレスが原因で心理相談室に来室した。子どもの頃から忘れ物が多く、頑固だと叱られることが多かった。学業の問題は特になかった。友人はほとんどいなかったが、独りの方が楽だと思っていた。就職した当初はシステムエンジニアとして働いており、大きな問題はなかった。しかし、今年に入って営業部に異動してからミスが増え、上司から叱責されることが多くなった。Aは「皆がもう少しゆっくりやってくれたら」と職場への不満を口にするが、「減給されるので仕事を休む気はない」と言う。

Aに実施するテストバッテリーに含めるものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① BACS
- ② MMSE
- ③ STAI
- ④ WAIS-III
- ⑤ 田中ビネー知能検査V

**問138** 36歳の男性A、会社員。Aは転職を考え、社外の公認心理師Bのカウンセリングを受けた。6か月間BはAの不安を受け止め、二人で慎重に検討した後、転職することができた。初めはやる気を持って取り組めたが、上司が替わり職場の雰囲気が一変した。その後のカウンセリングでAは転職を後悔していると話し、AがBの判断を責めるようになった。次第に、Bは言葉では共感するような受け答えはするが、表情が固くなり視線を避けることが増えていった。その後、面接は行き詰まりに達して、Aのキャンセルが続いた。

AがBの判断を責めるようになってからのBの行動の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 不当にBを責めて、自分の責任を外在化するAに対して、距離を置いている。
- ② 不満をこぼすが状況に対処していないAに対して明確な姿勢をもって臨んでいる。
- ③ それまでのようにAに支持と共感をしないことによって、意図せず反撃してしまっている。
- ④ 誤った判断をし、Aを傷つけてしまったという不安が強くなり、介入することができなくなっている。
- ⑤ 職場に対する不満の問題が再燃し、繰り返されていることを気づかせるために中立性を保とうとしている。

**問139** 15歳の男子 A、中学3年生。A は不登校と高校進学相談のため教育相談室に来室した。A はカウンセリングを受けることに対して否定的であった。「カウンセリングに行かないと親に小遣いを減らされるので来た。中学校に行けないことについてはもう諦めている。通信制高校に進みたいが、親が普通高校へ行けと言うので頭にくる。毎日一人で部屋で過ごしているのは退屈なので友達と遊びに行きたいが、自分からは連絡できない」と言う。実際には、中学校の生徒に見られることを恐れて、近所のコンビニにも行けない状態だった。

作業同盟を構築するためのカウンセラーの最初の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① カウンセリングがどのようなものか A に分かるように説明する。
- ② 通信制高校に合格するという目的を達成するために継続的な来室を勧める。
- ③ A と親のどちらにも加担しないように中立的な立場をとることを心掛ける。
- ④ 外に出るのを恐れているにもかかわらず、教育相談室に来られたことを肯定してねぎらう。
- ⑤ カウンセリングに行かないと小遣いを減らすと親から言われていることに「ひどいですね」と共感する。

**問140** 50歳の女性A、会社員。Aは不眠を主訴に病院に来院した。81歳の母親Bと二人暮らしである。Bは3年前にAlzheimer型認知症と診断され、要介護2で週3回デイサービスに通所していた。1か月前から、Bは家を空けると泥棒が入り預金通帳を盗まれると言って自宅から出なくなった。さらに、不眠で夜間に徘徊し、自らオムツを外して室内を汚すようになった。Aは介護と見守りのためにほとんど眠れないという。

このときの病院の公認心理師がA及びBに助言する内容として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aがカウンセリングを受ける。
- ② AがBと関わる時間を減らす。
- ③ Aが地域活動支援センターに相談する。
- ④ Aが介護支援専門員と共にBのケアプランを再検討する。
- ⑤ Bが医療機関を受診し抗精神病薬による治療を受ける。

**問141** 21歳の男性 A、大学生。A は学生相談室に来室した。以前から緊張すると下痢をすることがあった。就職活動の時期になり、大学で面接の練習をしたときに強い腹痛と下痢を生じた。その後、同じ症状が起こるのではないかと心配になり、外出前に頻回にトイレに行くようになった。さらに、人混みでは腹痛が生じるのではないかと心配になり、電車やバスに乗ることも避けるようになった。消化器内科を受診したが、器質的な異常は認められなかった。

このときの学生相談室の公認心理師が A に対して最初に行う助言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 腹痛が気になる状況や、その際の心身の変化などを記録する。
- ② 心身の安定を実現するために、筋弛緩法を毎日実施するようにする。
- ③ 苦手な状況を避けているとますます苦手になるため、積極的に行動するようにする。
- ④ 腹痛を気にすればするほど緊張が高まってしまうため、なるべく気にしないようにする。
- ⑤ 下痢をしやすい間は安静にしたほうがよいため、しばらくは外出を控えるなど無理をしないようにする。

**問142** 32歳の女性 A、会社員。A は2か月前に部署を異動した。1か月ほど前から不安で苛立ち、仕事が手につかないと訴えて社内の健康管理室に来室した。最近疲れやすく体重が減少したという。面接時は落ち着かず手指が細かく震えている。

健康管理室で A の状態を評価するために、最初に考慮すべきものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 対人関係
- ② 仕事の能率
- ③ 不安の対象
- ④ 身体疾患の有無
- ⑤ 抑うつ気分の有無



**問143** 5歳の男児。父母からの身体的虐待とネグレクトを理由に、1週間前に児童養護施設に入所した。入所直後から誰彼構わず近寄り、関わりを求めるが、関わりを継続できない。警戒的で落ち着かず、他児からのささいなからかいに怒ると鎮めることが難しく、他児とのトラブルを繰り返している。着替え、歯磨き、洗面などの習慣が身につけていない。眠りが浅く、夜驚がみられる。

このときの施設の公認心理師が最初に行う支援として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 眠りが浅いため、医師に薬の処方依頼する。
- ② 心的外傷を抱えているため、治療として曝露療法を開始する。
- ③ 気持ちを自由に表現できるよう、プレイルームでプレイセラピーを開始する。
- ④ 趣味や嗜好を取り入れて、安心して暮らせる生活環境を施設の養育者と一緒に整える。
- ⑤ 年齢相応の基本的な生活習慣が身につくよう、施設の養育者と一緒にソーシャルスキルトレーニング〈SST〉を開始する。

**問144** 9歳の男児 A、小学3年生。Aは学校で落ち着きがなく、授業に集中できずに離席も多いため、担任教師に勧められて、母親が家の近くにある市の相談センターに連れて来た。母子家庭できょうだいはない。3回目の面談には、Aが一人で来所した。Aの顔が赤く腫れ上がっており、公認心理師 B が尋ねると、「昨日家でおじさんに殴られた。怖いから家に帰りたくない」と怯えた表情で訴えた。Bが「おじさんって？」と尋ねると、「一緒に住んでいる人」と答えた。よく見ると顔の別の場所や手足に古いあざのようなものが多数あった。

Bのとるべき行動として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 相談センターの責任者に伝え、センターから市の虐待対応部署に通告する。
- ② 家に帰すことは危険と考え、AをBの家に連れて帰り、母親に連絡を取る。
- ③ 事実の確認が必要と考え、司法面接の技術を用いて、自ら詳細な聞き取りを行う。
- ④ 怖い気持ちを十分に受け止めた上で、家に帰るように諭して帰宅させ、次回にその後の様子を聞く。
- ⑤ 母親に連絡してAが怯えていることを伝え、母親に「おじさん」の暴力を止めてもらうよう依頼する。

**問145** 中学生 A～E が学習している。A は社会科に興味があり自ら進んで学習するが、テストのために勉強することが嫌いである。B はテストで良い点を取るために勉強するが、学習内容には関心がない。C は何事に対しても優れた成果を出すために努力し、学習に取り組む時間が長い。D は親や教師に叱られることを避けるために勉強することが多く、学習が楽しいと思っことはない。E には勉強しないと不安になる傾向があり、学習時間が長い。

内発的動機づけによる学習をしている者として、正しいものを1つ選べ。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

**問146** 9歳の男児 A、小学3年生。Aの学級はクラス替えがあり担任教師も替わった。5月になると A が授業中に立ち歩くようになり、それを注意する児童と小競り合いが頻発するようになった。クラス全体に私語がみられ、教室内で勝手な行動をして授業に集中できていない児童も多くなってきた。やがて、担任教師の指導に従わず授業が成立しないなど、集団教育という学校の機能が成立しない状態になってきた。担任教師によるこれまでの方法では問題解決ができない状態に至っていると管理職は判断している。

このときの学校の取組として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 担任教師を交代させる。
- ② 児童の力を信頼し、時間をかけて改善を待つ。
- ③ チームティーチングなどの協力的指導体制を導入する。
- ④ 校長のリードにより、学校独自の方策で解決に取り組む。
- ⑤ A の保護者に対し、家庭で厳しくしつけるよう依頼する。

**問147** 11歳の女兒 A、小学5年生。Aは複数のクラスメイトから悪口やからかいなどを頻繁に受けていた。ある日、スクールカウンセラー Bは、Aから「今のクラスにいるのがつらい」と相談を受けたが、「誰にも言わないでほしい」と強く頼まれた。

Bの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 職員会議で全教職員に詳細に報告する。
- ② Aとの関係を重視して、Bのみで対応を継続する。
- ③ Aの同意が得られるまで、管理職(校長など)への報告を控える。
- ④ 学級内で起きていることであり、担任教師に伝え対応を一任する。
- ⑤ Aの心情も含めて、校内のいじめ対策のための委員会に報告する。

**問148** 40歳の女性 A。Aには二人の息子がいたが、Aの長男が交通事故に巻き込まれ急死した。事故から半年が経過しても、涙が出て何も手につかない状態が続いている。Aの状態を案じた夫に連れられて、カウンセリングルームに来室した。カウンセリングの中で、Aは「加害者を苦しめ続けてやる。自分はこんなに悲しみに暮れている。息子が亡くなったのに平気な顔で生活している夫の神経が信じられない」などと繰り返し語っている。

このときの A への支援の在り方として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 加害者を苦しめ続けたいという A の気持ちを否定しない。
- ② A の安心を優先させるため「私はあなたを全部理解できる」と言う。
- ③ A の話が堂々巡りになっているため、将来のことに話題を変える。
- ④ カウンセリングで良くなった担当事例を紹介して、A を勇気づける。
- ⑤ A の考えに同調し「確かにご主人の神経は信じられませんね」と言う。

**問149** 45歳の男性A、工場勤務。Aは酒好きで、毎日焼酎を4～5合飲んでいました。この数年、健康診断で肝機能の異常が認められ、飲酒量を減らすよう指導を受けていた。半年前から欠勤が目立ち始め、酒の臭いをさせて出勤し、仕事のミスも目立ち始めた。産業医は「完全に飲酒をやめることが必要。できなければ専門病院での入院治療も必要」とAに指導した。Aは今後一切飲酒しないと約束した。1か月後、上司から産業保健スタッフの一員である公認心理師に連絡が入り「Aが1週間ほど無断で休んでいる。電話をすると、つい酒を飲んでしまったということだった」と言う。

関係者(上司、人事労務担当者、産業保健スタッフ、家族など)の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 関係者が集まり、全員でAに問題を認識させる。
- ② 治療を受ける意向がある場合は合意事項を確認し、Aと約束する。
- ③ 「絶対自分でやめる」と主張する場合は、Aの意思を尊重して様子を見る。
- ④ 治療しなければ降格や失職の可能性も考えなければならないことをAに伝える。
- ⑤ 専門治療の必要性と入院を含む治療方針について、関係者間で事前に協議しておく。

**問150** Müller-Lyer 錯視の図形に関して、矢羽根(斜線)の角度が錯視量にどのように影響を与えるのかを調べるために実験を行うことになった。矢羽根が内側に向いた内向図形を標準刺激、矢羽根が外側を向いた外向図形を比較刺激とし、この2つの刺激を接するように横に並べて呈示する。標準刺激の主線(水平線分)の長さは90 mm、比較刺激の主線の長さは可変、標準刺激も比較刺激も矢羽根の長さは30 mm、矢羽根の角度は15°、30°、45°、60°とした。実験参加者は標準刺激の主線の長さの主観的に同じ長さになるように、比較刺激の主線の長さを調整する。

この実験を行う方法として、正しいものを1つ選べ。

- ① 標準刺激の位置を左に固定する。
- ② 矢羽根の角度が異なる刺激をランダムに呈示する。
- ③ 主線の太さを矢羽根の角度によってランダムに変化させる。
- ④ 図形の背景の色を矢羽根の角度によってランダムに変化させる。

**問151** 20歳の男性 A、大学生。A は大学のサークル内の友人関係におけるトラブルを経験した。その後、周囲の様々な物が不潔だと感じられるようになり、それらに触れた場合、馬鹿らしいと思っても何十分も手を洗わずにはいられなくなった。手を洗うことで一時的に不安は弱くなるが、手を洗うのをやめようとするとう不安が強くなった。やがて、日常生活に支障を来すようになり、医師の紹介で相談室に訪れた。

A に対する行動療法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A の不安が一時的ではなく完全に消失するまで手洗い行動を続けさせる。
- ② 触った後で手を洗いたくなるような不潔な物を A に回避させることで、不安を弱くさせる。
- ③ 手を洗った後で、本当に手がきれいになったかどうかを家族に確認してもらい、手洗い行動を減らしていく。
- ④ 不潔だと感じる物に意図的に触れさせ、手洗い行動をしないように指示し、時間の経過とともに不安が弱まっていくことを確認させる。



**問152** 21歳の女性 A、生後1か月半の乳児の母親。乳児家庭全戸訪問事業として訪問スタッフが A の家庭を訪れた。A は表情が乏しく、精神的な活力の乏しさが推測された。「初めての育児で全てのことに自信がない。このまま育てられるか不安だ。夫は残業で帰りが遅く、周囲に相談する人もいない。子どもが夜中に何回も起きるので寝不足でつらい」と涙ぐみながら語った。公認心理師は1週間後に A を訪問する予定のスタッフから対応を相談された。

このときの助言として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A にすぐに精神科への受診を勧めるよう助言する。
- ② A にすぐに保育園の入園手続を勧めるよう助言する。
- ③ A の代わりに訪問スタッフが夫や両親にサポートを依頼するよう助言する。
- ④ A に「育児は大変なことばかりなので前向きになりましょう」と声をかけるよう助言する。

**問153** 28歳の女性A、会社員。Aは、3か月前に夜遅く一人で歩いていたところ、強制性交等罪(強姦)の被害に遭った。その後、気がつくとも事件のことを考えており、いらいらしてささいなことで怒るようになった。仕事にも集中できずミスが目立つようになり、上司から心配されるまでになった。「自分はどのようにして事件に巻き込まれたのか。こんな私だから事件に遭ったのだろう。後ろから足音が聞こえてくると怖くなる。上司も私を襲ってくるかもしれない」と思うようになった。

Aに認められていない症状として、正しいものを1つ選べ。

- ① 侵入症状
- ② 回避症状
- ③ 覚醒度と反応性の変化
- ④ 認知と気分の陰性変化

**問154** 70歳の男性A。Aは、もともと穏やかな性格であったが、2年くらい前から非常に短気になり、気に入らないことがあると怒鳴り散らすようになった。天気が悪くても日課の散歩は毎日欠かさず、いつも同じコースを歩くようになった。また、散歩中に信号を無視することも多くなり、危険であるため制止すると興奮するようになった。

Aに認められている症状として、正しいものを2つ選べ。

- ① 強迫行為
- ② 常同行動
- ③ 離人症状
- ④ 見当識障害
- ⑤ 抑制の欠如



